

目 次

著作集⑤の刊行にあたって	ii
--------------------	----

第 1 章 指導手順

指導手順を変えることについて	8
「指導手順」の原型 (1)	12
「指導手順」の原型 (2)	23
Oral Introduction 再考	36
授業の「型」をどうとらえるか	42
＜解説＞ 若有 保彦	49

第 2 章 授業研究

「仮説」から「結論」まで	52
実践研究の原点	58
ビデオカメラマンの思い出	64
「授業研究」事始め	69
授業研究の方法について	72
＜解説＞ 望月 正道	101

第 3 章 学習指導案

指導案	104
何のための学習指導案か	117
Q&A 校内での研究授業のための教案について	120
＜解説＞ 大内 由香里	123

第 4 章 教材論

教科書と「英語らしい」表現	126
異説英語教材論	132
「教材内容の精選」論	138
「身近なこと」について	144
教科書は現実の反映であることについて	146
教科書をどう使うか	149
戦後 30 年の中学校英語教科書	155
ことばの教科書を求めて	174
英語授業学	184
教材における英語の質について	203
教科書疑獄と教科書国定化	209

三省堂版中学校英語教科書	219
公開質問状に答える	227
言語材料と教科書	233
『ジャック・アンド・ベティ』という黒船	241
スピーチ I Have a Dream の魅力	248
＜解説＞ 小菅 和也	267

第 5 章 『ニュー・クラウン』 ・ 『基礎英語』

新しい教科書像をめざして	270
さし絵と英語の歌	271
『ニュークラウン』の編集を終えて	274
週 3 時間と教科書	282
「基礎英語 1」	286
＜解説＞ 小菅 敦子	290
あとがき	293